

## (4) 地域における子どもの読書活動の推進

### 【第1次計画の成果・課題】

図書館では、子どもたちに本の楽しさを知ってもらい、図書館に慣れ親しんでもらうために、定例おはなし会や各種講座・イベントを実施しています。おはなし会の参加者は5年の経過で1,000人の増、「読書アンケート」では図書館などで行うおはなし会や読み聞かせに参加したことがある保護者が20.9%から33.6%に増えました。

読み聞かせボランティア養成講座を新たに開催し、受講生は読み聞かせの基本を習得後、図書館や小・中学校、児童館等で活動しています。児童書について学ぶ講座は、中央図書館では「子どもの本を学ぶ講座」、南部図書館では「子どもの本を楽しむ」を開催し、毎年好評を得ています。今後は同じ目的を持った市民の交流の場となるような運営が必要になります。

児童コーナーの整備充実は、蔵書については、488,734冊から538,894冊に増やし充実を図りました。配架方法については、全館で絵本の配列を絵で自分の読みたい絵本を探す幼児のために、同じ画家の作品が同一の書架に並ぶ、画家名の五十音順に配架しました。文学作品を低学年向きの幼年文学と中学年以上の児童文学とに分け、利用しやすい書架を目指しました。これからも、手に取ってみたいと思わせる蔵書構成と簡単に本が探せる書架であるよう、常に意識して業務に当たります。

ヤングアダルトへのサービスは、「L magazine」の発行や交流会を実施してきましたが、新たに、ブックトークのための学校訪問を開始しました。

また、子どもの情報活用能力向上のための支援として、様々な情報を読み解く力や図書館を使いこなせる力を身に付けることは、ますます必要になります。図書館の利用案内や調べ学習の資料提供等に努めていきます。

今後も、利用促進のため、子どもや保護者に対して魅力的な取組や、利用しやすい読書環境を整備するとともに、これらサービスを実施するために専門能力を有する図書館職員の育成・確保に努めていきます。(中央図書館)

生涯学習施設では、子どもと本を結び付けるために地域で活動する人材の育成や、活動の場を提供すること等を目的とし、各種講座やイベントを開催しています。

「読み聞かせボランティア養成講座」では、読み聞かせの意義や魅力、絵本の選び方、読み語りの技術等について一般受講者が実践的に学ぶとともに、講座最終回では成果を発表する場として「おはなし会」も開催しました。また、一般の読み聞かせボランティアグループなどが「おはなし会」を開催する拠点としても、生涯学習施設が利用されており、清水区生涯学習交流館では、地域住民が気軽に訪れ本に親しんでもらえる場となるよう、図書室を整備し、図書の貸出しを行っています。

これら各事業を今後も継続して実施することで、地域における子どもの読書活動の推進に寄与するとともに、子どもが気軽に本にふれ学べる機会や場を提供していきけるよう努めていきます。(生涯学習推進課)

子育て支援課では、市内公立保育所42園で開催されている「あそび・子育ておし

しゃべりサロン事業」(月1回程度未就園児の親子を対象に実施する事業)や市内18か所の子育て支援センターにおいて、保育士等による絵本や紙芝居の読み聞かせやおすすめ絵本の紹介、手あそびの実演をし、乳幼児からの本との出会いの大切さや絵本を読む楽しさを伝えています。おしゃべりサロンや子育て支援センターでの読み聞かせは、多くの保護者から喜ばれています。

また、市内11館の児童館では子どもの読書への関心を高めるとともに、保護者に対しても読書への関心を持ってもらうための読み聞かせやおはなし会を定期的に開催しています。平成23年度には10館の児童館で読み聞かせやおはなし会が206回行われ、8,225人が参加しました。引き続き読み聞かせやおはなし会を通じて、読書機会の提供に努めていきます。(子育て支援課)

ほとんどの保健福祉センターでは、待合スペースにおもちゃだけでなく絵本を配置することで、乳幼児健診や育児相談の待ち時間に子どもが絵本に触れ合う機会を作っています。「子ども読書活動に関する状況調査結果」(1歳6か月児の保護者アンケート・回収件数394人回収率78.8%)では、家庭での読み聞かせの頻度は「ほぼ毎日・週3～4回・週に1～2回」をあわせると約83%の人が読み聞かせをしているなど絵本への関心の高さがうかがえます。

また、保健福祉センターを会場に行っている6か月児育児相談・1歳6か月児健康診査でのブックスタート事業やブックステップ事業もよいきっかけづくりとなっており、このような体制を今後も継続していきたいと考えています。(葵・駿河・清水健康支援課)

男女共同参画課で所管している女性会館では、図書コーナーを設置しておりますが、こちらでは子育て世代の方の来館も多いことから、児童向けの図書の貸出しも行っています。女性会館という設置目的から、男女共同参画の視点を持った書籍、絵本等を中心に、蔵書を増やしています。児童向けの図書の貸出し数も、例年並みに推移しており、概ね良好な実施状況です。

また、女性会館図書コーナーでは、各種講座やイベントを実施し、図書コーナーに親んでもらうとともに、本との出会いの場を提供することで、読書環境の整備を図ってきました。今後も、女性会館図書コーナーとして様々な取組を実施するとともに、市民の利用促進に努めていきます。(男女共同参画課)

文化振興課では、所管している静岡科学館「る・く・る」において、利用者向けの図書コーナーを設け、科学や環境に関する様々な図書を整備しています。

1,200冊近い蔵書数があり、図書を通じて、実際に見ることのできない科学の不思議や宇宙の仕組みなどを学べるため、子ども達だけではなく、一緒に来館される保護者も子どもと一緒に読書に親しむことができ、大変好評を博しています。今後も引き続き、対象年齢にあった図書の充実を図っていきます。(文化振興課)

中央図書館から提供を受けたりサイクル図書を、当課所管2施設にて再利用しまし

た。清水海洋活動センターでは「小石のアート」という教室において石にペイントをする際の魚の見本として利用され、浜石野外センターでは山や沢で採取または発見した昆虫や木々等を調べる際に利用されました。今後は、これらリサイクル図書の利用の拡大に努めると共に、青少年の育成活動においても役立つ利用の推進を検討していく予定です。(青少年育成課)

## 【取組】

### ① 図書館の取組

図書館は、地域の情報拠点として、子どもの読書活動推進の中核的な役割を担っています。図書館では、以下の取組を推進していきます。

### ○ 図書館の定例おはなし会や各種講座・イベントの開催

図書館では、子どもたちに本の楽しさを知ってもらい、図書館に慣れ親しんでもらうために、おはなし会や様々な講座・イベント等を実施していきます。

### ○ 児童コーナーの整備充実

子どもたちや保護者が、豊富な資料の中から自由に選ぶことができるよう、児童コーナーを整備・充実していきます。

### ○ 子どもの読書活動の推進のための啓発・広報

子どもや大人に、読書の大切さを理解してもらえるよう、「子ども読書の日」(4月23日)の関連事業や様々な読書関連イベント等を通して積極的に啓発・広報をしていきます。

また、ブックリスト・パスファインダーの作成・改訂やホームページなどを活用した情報提供を行ったり、図書館訪問や職場体験学習を積極的に受け入れることにより、読書への関心・興味につなげていきます。

### ○ 様々な子どもたちへのサービスの充実

ヤングアダルト\*<sup>9</sup>(YA)、障害のある子ども、外国人の子どもなどが豊かな読書活動ができるように各種資料の充実・提供に努めていきます。また、様々な子どもたちに対して、よりよいサービスを実施していくために、専門能力を有する図書館職員の育成・確保に努めていきます。

---

\*9「ヤングアダルト」：アメリカ図書館協会の「ヤングアダルト・サービス指針」によると、ヤングアダルトとは、12歳から18歳で、「もはや自分を子どもだと思っていないが、社会は大人とは認めていない」世代であると定義している。日本での調査では、13歳から18歳を対象としている図書館が最も多い。

## ○ 子どもの情報活用能力向上のための支援

これからの情報化社会を生きる子どもたちにとって、様々な情報を読み解く力や図書館を使いこなせる力を身に付けることは、今後ますます必要になります。図書館では子どもの情報活用能力向上のために、図書館の利用案内や調べ学習の資料提供等に努めていきます。

## ② 生涯学習施設の取組

生涯学習施設では、ボランティアによるおはなし会や子どもの読書に関する講座など、読書の大切さについて理解を深める事業を実施していきます。

さらに、図書室の整備・充実や読書関係団体などに活動の場を提供していきます。

## ③ 保健福祉センターの取組

保健福祉センターでは健診などの場に、子どもの発達にあった絵本などを置いて、子どもが本に触れ合うためのきっかけづくりをし、保護者に本に興味をもってもらう機会を作っていきます。

また、6か月児育児相談の際に、図書館、おはなしボランティア等と連携・協力して、「ブックスタート事業」を実施していきます。

## ④ 子育て支援センターの取組

子育て支援センターでは、職員やボランティアによるおはなし会や子育てに関する講習会、イベントを通じて、読み聞かせなどの大切さや意義を広く普及させていきます。

## ⑤ 児童館の取組

児童館では、ボランティアによるおはなし会等の充実と各種イベントによる読書機会を提供していきます。

## ⑥ その他関係機関の取組

女性会館や静岡科学館（る・く・る）には、独自の図書コーナーがあり、それぞれの特色にあった図書が充実しています。常に最新の情報を提供し、利用者に興味をもっていただけるよう図書コーナーを整備していきます。

また、各関係機関による子育て支援事業や青少年育成事業を通して、子どもの読書活動を推進するための広報・啓発に努めていきます。

## ⑦ 民間団体の取組

民間の読書関係団体・グループには、家庭文庫、おはなし団体、読書推進団体、PTA、子育てサークル等があります。これら団体・グループでは、読書機会の提供や読書環境の整備・充実のために様々な活動をしており、子どもの読書活動の広がりが期待されます。

また、書店では、児童図書コーナーを充実させ、良質な本を普及させることなどにより、子どもの健全な育成に貢献することが望まれます。

**【具体的な取組】** (※詳細は「取組一覧表」を参照)

《施策》	《整理番号》	《取組名》	《担当課》	《備考》
<b>【読書機会の提供】</b>				
図書館による「おはなし会」等の活動や関係機関との連携した取組	30	図書館の定例おはなし会	中央図書館	継続・充実
その他関係機関による「おはなし会」等の活動	31	児童館における読み聞かせの推進	子育て支援課	継続・充実
	32	子育て支援施設でのおはなし会	子育て支援課	継続・充実

**【読書環境の整備・充実】**

地域における推進団体等への支援	33	「団体貸出し」の有効利用の促進	中央図書館	継続・充実
	34	除籍図書館資料の各団体への提供	中央図書館	充実
図書、図書室・図書コーナー等の整備充実	35	図書館児童コーナーの整備・充実	中央図書館	継続・充実
	36	生涯学習施設図書室整備事業	生涯学習推進課	継続・充実
	37	乳幼児健診・相談などでの絵本の利用	葵・駿河・清水健康支援課	継続・充実
	38	女性会館図書コーナー児童向け図書貸出し	男女共同参画課	継続・充実
	39	科学メディアライブラリーの整備・充実	文化振興課	継続・充実
	40	浜石野外センターでの図書利用の推進	青少年育成課	充実
子どもの読書活動の推進に関わる各種講座やイベントの開催	41	ハローベビー赤ちゃんのための読み聞かせ講座	中央図書館	継続・充実
	42	子どもの本を学ぶ講座	中央図書館	継続・充実
	43	南部図書館講座「子どもの本を楽しむ」	中央図書館	継続・充実
	44	一日こかげ文庫	中央図書館	継続・充実
	再掲(10)	生涯学習施設での各種講座やイベントの開催	生涯学習推進課	継続・充実
	再掲(11)	図書館の各種講座・イベント	中央図書館	継続・充実
青少年へのサービス	45	YAコーナーの整備・充実	中央図書館	継続・充実
	46	「L magazine」の発行	中央図書館	充実
障害のある子どもへのサービス	47	録音図書やバリアフリー絵本等の整備・充実	中央図書館	継続・充実
外国人の子どもへのサービス	48	御幸町図書館の多言語サービス	中央図書館	継続・充実
読書ボランティアの養成	49	図書館の読み聞かせボランティア養成講座	中央図書館	継続・充実
図書館職員の専門能力の向上	50	図書館職員の研修等の充実	中央図書館	継続・充実

**【読書活動の普及・啓発】**

ホームページを活用した情報提供	51	子ども向けホームページの充実	中央図書館	継続・充実
読書活動推進のための啓発	52	図書館訪問の受入れ	中央図書館	充実
	53	職場体験学習の受入れ	中央図書館	充実
保護者・子どもへの図書の紹介	54	出前講座による読書指導	中央図書館	充実
	55	男女共同参画の視点を持った絵本等の紹介	男女共同参画課	充実
	再掲(3)	ブックリストの作成・改訂	中央図書館	継続・充実

読書週間及び「子ども読書の日」等における啓発・広報	再掲(8)	子ども読書の日イベント	中央図書館	継続・充実
読書関連イベントを通じての啓発・広報	再掲(10)	生涯学習施設での各種講座やイベントの開催	生涯学習推進課	継続・充実
	再掲(11)	図書館の各種講座・イベント	中央図書館	継続・充実
ブックスタート事業等による啓発・広報	再掲(12)	ブックスタート事業	中央図書館	継続・充実
	再掲(13)	ブックステップ事業	中央図書館	継続・充実